

三重県経済の動向 (2025年12月) No. 579

【現在の景気】 持ち直しの動きがみられる (※25年9月~11月の指標より (一部除く))

生産は前月比、前年比ともに上昇。雇用は持ち直しの動きに足踏み。個人消費は持ち直しの動き。

<当月のポイント>

- ・生産指数（10月）は前月比2か月連続の上昇。輸送機械、汎用・生産用・業務用機械が上昇。
- ・常用雇用指数（9月）は2か月連続の上昇。企業の人手不足感（11月）は高水準で推移。
- ・百貨店・スーパー、ドラッグストア、家電大型専門店の販売額（10月）は前年比増加。家計消費（10月）は2か月連続の増加。県民の節約意識（11月）は低下し改善傾向。

【当面の見通し】 横ばい圏内で推移する

米国関税政策の日米間合意等により先行き不安感は一定薄れつつあるが、製造業では関税発動に伴うコスト増やサプライチェーンの見直し、海外景気の下振れなど一部影響の顕在化懸念。ガソリン・軽油減税など物価高対策が消費や業況を下支えも、内外の物価動向や利上げの影響を注視。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 (総合判断)	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	持ち直しの動きがみられる	↗	—
1. 企業の景況感	足元は足踏み、先行きは持ち直しの動き	足元は足踏み、先行きは持ち直しの動き	持ち直しの動きがみられる	↗	2
2. 生産	持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	↗	3
3. 輸出	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	→	3
4. 設備投資	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	4
5. 企業倒産	横ばい圏内となっている	横ばい圏内となっている	横ばい圏内となっている	→	4
6. 雇用	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	→	5
7. 賃金	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	6
8. 個人消費	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	6
9. 住宅投資	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	→	7
10. 公共投資	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したもの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※2 採用指標は作成時点での発表済みの最新値を使用している。

<担当> HRI 株式会社百五総合研究所 地域共創事業部 谷ノ上 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 県内企業の景況感

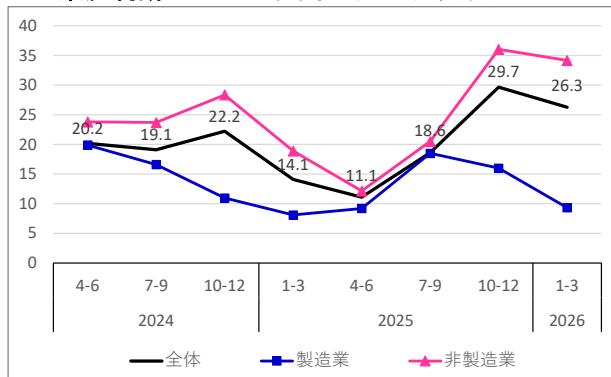
【現状】<持ち直しの動きがみられる>

- 当社調査（11月実施）では、25年10-12月期の業況判断DIは+29.7となり持ち直し。
- 法人企業景気予測調査（11月実施）では、10-12月期の景況判断BSIは、+0.8%ポイントの「上昇」超。

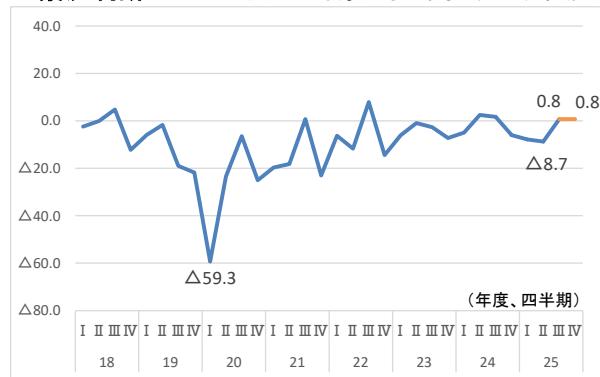
【見通し】

- 当社調査（11月実施）では、26年1-3月期の業況判断DIは+26.3となり、前期比やや低下も高水準の見通し。
- 法人企業景気予測調査では、26年1-3月期の景況判断BSIは、+0.8%ポイントの「上昇」超。

■業況判断DI（当社調査、11月実施）



■景況判断BSI（法人企業景気予測調査、11月実施）



資料：当社「業況に関する調査」(25年11月、236社)、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」(25年11月、127社)

(2) 景気動向指數

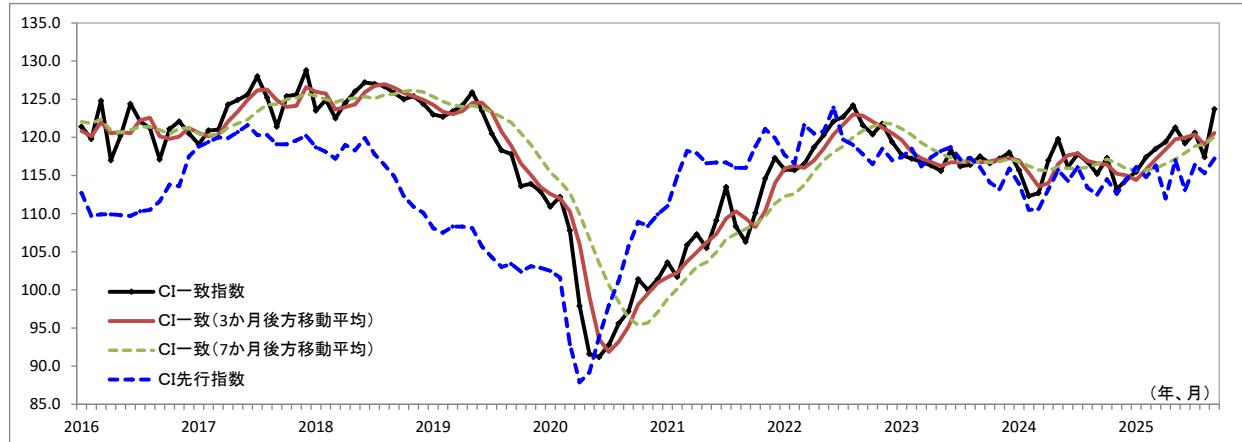
【現状】

- 9月の景気動向指數（CI）一致指數は、123.7で前月差+6.3ポイント。3か月後方移動平均（+1.50ポイント）は2か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均（+0.90ポイント）は7か月連続の上昇となった。三重県が内閣府の判断基準に準じて判断した基調では、「足踏み」としている。

【見通し】

- 9月の景気動向指數（CI）先行指數は、117.2で前月差+1.9ポイント。3か月後方移動平均（+1.37ポイント）は2か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均（+0.34ポイント）は2か月ぶりの上昇となった。

■景気動向指數（CI）（2020年=100）



※複数の指標の動きを統合して单一指標で景気を把握しようとするものであり、すべての経済指標を総合的に勘案して景気を捉えようとするものではないことに留意する。「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

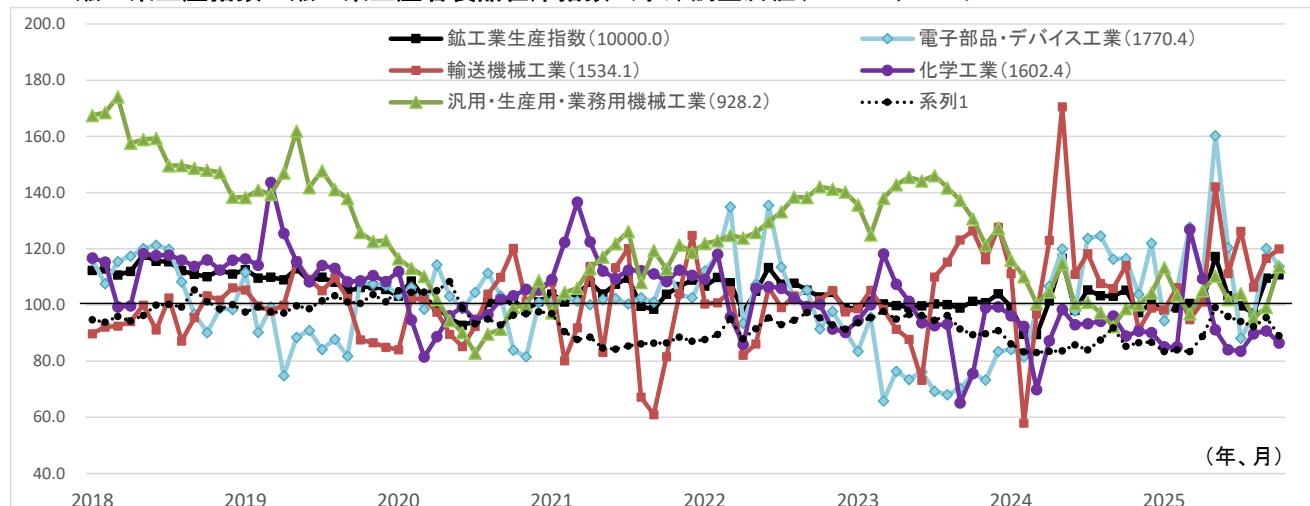
資料：三重県「三重県景気動向指數（CI）」

2. 生産

【現状】<持ち直しの動きがみられる>

- 10月の鉱工業生産指数（季調済）は110.8で、前月比は+1.1%と2か月連続の上昇、原数値は110.9で前年比+5.2%と2か月連続の上昇となった。
- 生産指数を業種別にみると、輸送機械は、前月比+2.9%と2か月連続の上昇、前年比でも+5.1%と2か月連続の上昇。汎用・生産用・業務用機械は、前月比、前年比とともに2か月連続の上昇となった。電子部品・デバイスは、前月比△5.3%と3か月ぶりの低下、前年比では△2.4%と2か月ぶりの低下。化学工業は、前月比3か月ぶりの低下、前年比は6か月連続の低下となった。原材料である生産財は、前月比3か月ぶりの低下、前年比では2か月連続の上昇となった。

■鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2020年=100）



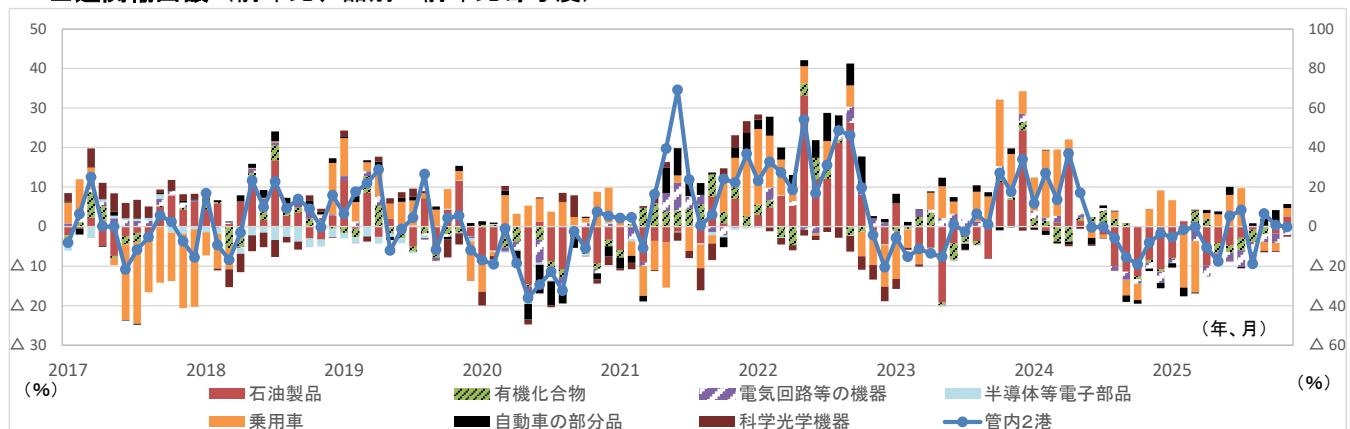
※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

3. 輸出

【現状】<足踏み状態となっている>

- 11月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比△0.2%と3か月ぶりの減少、主要港である四日市港は△0.4%と16か月連続の減少となった。
- 四日市港の輸出主要品別にみると、石油製品、乗用車、自動車の部分品、プラスチックなどが増加したものの、電気回路等の機器、一般機械、有機化合物、ゴム製品などが減少に寄与した。

■通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。

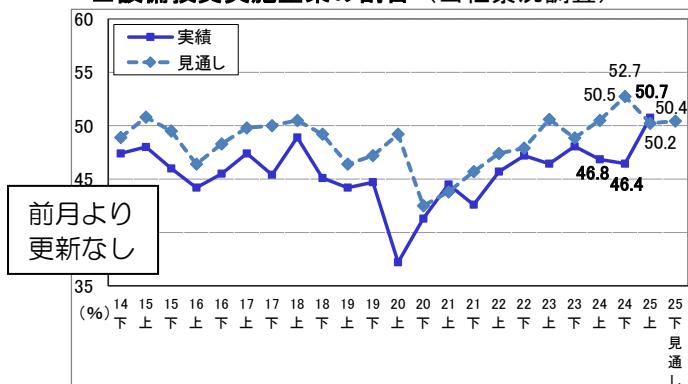
資料：四日市税関支署「管内貿易概況」

4. 設備投資

【現状】<持ち直しの動きがみられる>

- 当社景況調査（7月実施）では、25年度下期の設備投資実施（見通し）企業は50.4%と高水準の見通し。法人企業景気予測調査（11月実施）では、25年度投資額は前年度比+21.4%の増加見込み。
- 11月の貨物車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）は前年比+8.6%となり、2か月連続の増加。普通貨物（+20.7%）は8か月ぶりの増加、小型貨物（+72.2%）は3か月連続の増加となったが、軽貨物（△10.5%）は4か月連続の減少となった。
- 10月の建築物着工床面積（非居住用）は前年比△37.3%、3か月移動平均では2か月連続の増加。
- 6月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比7か月連続の上昇。

■設備投資実施企業の割合（当社景況調査）



■貨物車新車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比）



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。

※資料：国土交通省「建築物着工統計」／内閣府「地域別支出総合指数」

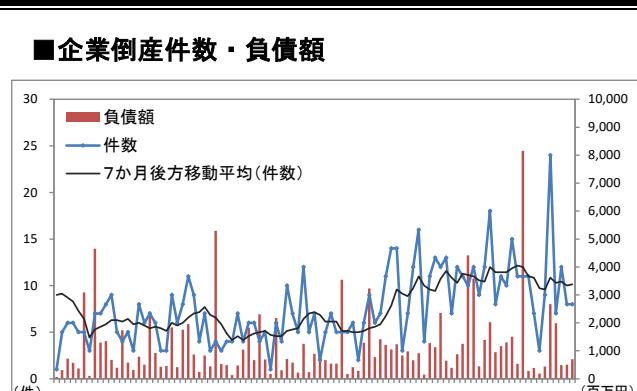
5. 企業倒産

【現状】<横ばい圏内となっている>

- 11月の企業倒産件数は8件（前年差△2件）、負債額は7億円（前年差△6億4百万円）となった。25年1月からの累計では、件数は前年比△7.5%、負債額は△8.2%となった。

※負債額 1,000万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額

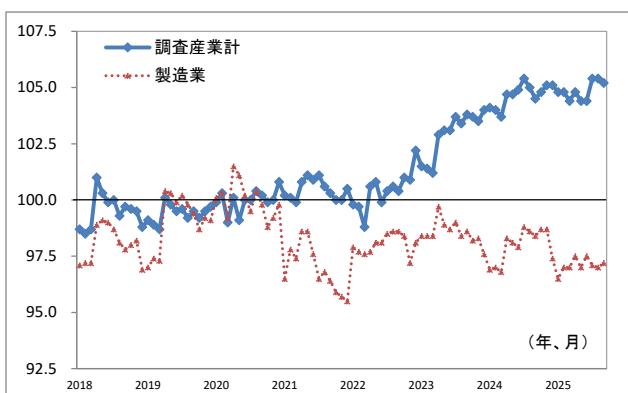


6. 雇用

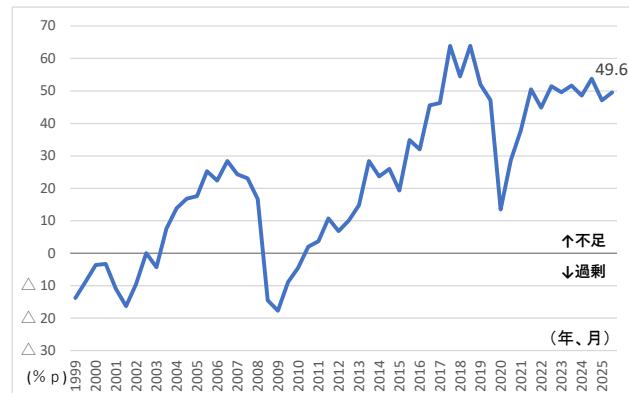
【現状】<持ち直しに足踏みがみられる>

- 9月の常用雇用指数は105.2で、前年比+0.7%と2か月連続の上昇となった。製造業は97.2で、前年比△1.2%と6か月連続の低下となった。
- 当社調査（11月実施）では、54.7%の企業が人員は「不足・やや不足」と回答し、過不足感は+49.6と高水準でほぼ横ばい。法人企業景気予測調査（11月実施）では、12月末の従業員数判断BSIが34.6%ポイントの「不足気味」超で、前回9月末に比べ「不足気味」超幅は拡大。
- ハローワークにおける10月の有効求人倍率（季調済）は1.16倍で、前月比△0.02ポイント。有効求人人数（原数値）は前年比+0.2%で2か月連続の増加、有効求職者数（原数値）は△1.5%で2か月連続の減少。新規求人倍率（季調済）は2.09倍となり、前月比+0.15ポイントと3か月ぶりの上昇となった。
- 雇用保険の基本手当受給者実人員（10月）は、前年比+4.8%で11か月連続の増加となった。
- 求人情報・転職サイトdodaによると、中部地域の11月の転職求人倍率は2.71倍となり高水準。

■常用雇用指数（2020年=100）



■人員の過不足感（不足割合－過剰割合）

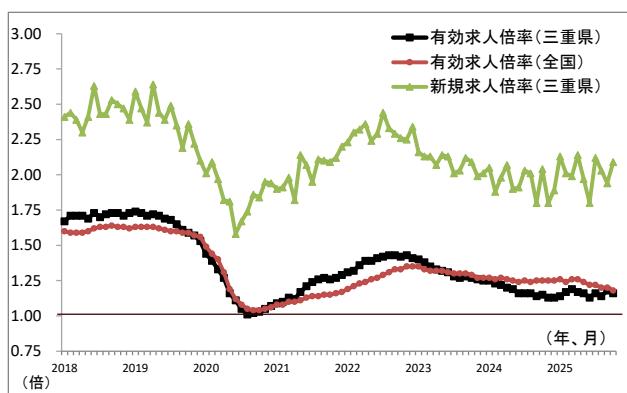


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員+パートタイム労働者）を指数化したもの。2024年1月分公表時に、ベンチマーク更新に伴い過去に遡って改訂されている。

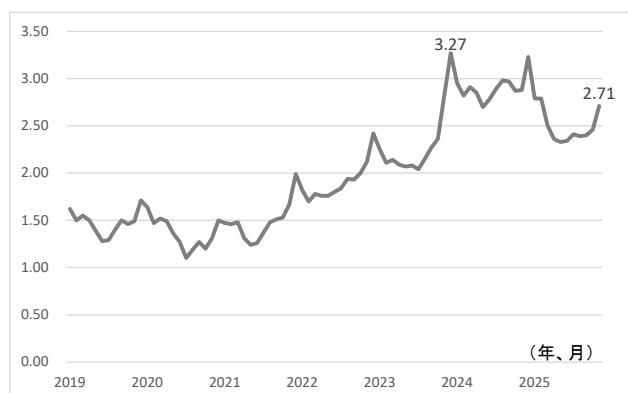
※人員の過不足感＝（不足+やや不足の割合）－（過剰+やや過剰の割合）。各年1月と7月。

資料：三重県「毎月勤労統計調査」、当社「景況調査」「業況に関する調査」

■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）



■doda 転職求人倍率（中部地域）



※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。

※doda 転職求人倍率は、doda の会員登録者（転職希望者）1名に対して、中途採用の求人が何件あるかを算出した値。

資料：三重労働局「一般職業紹介状況」、パーソルキャリア（株）「doda 転職求人倍率データ」より当社作成

7. 賃金

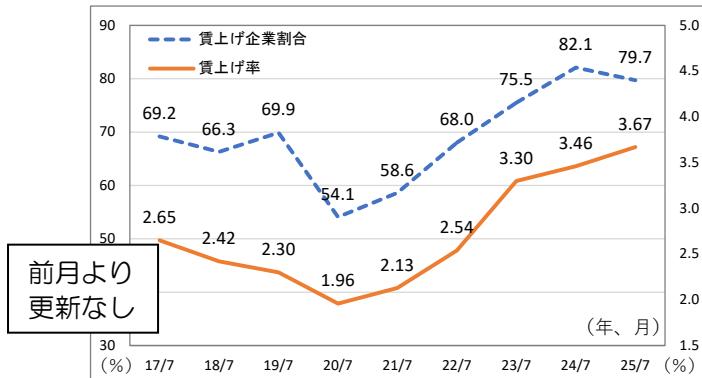
【現状】<持ち直している>

○当社景況調査（7月実施）では、25年4月以降に賃金を「引き上げた」企業は79.7%と高水準。

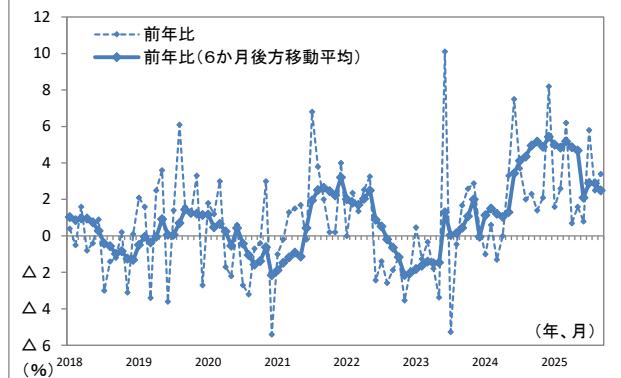
賃上げ率は3.67%と、3年連続の3%超え。

○9月の名目賃金指数（現金給与総額）は、前年比+3.4%と17か月連続の上昇となった。

■賃上げ企業割合・賃上げ率（当年度）



■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



※賃上げ企業割合は、当年度に賞与等を含む賃金を引き上げた企業の割合。各年度7月時点。

※事業所規模5人以上、2020年=100。現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。

資料：賃上げ企業割合と賃上げ率は当社「景況調査」。賃金指数は三重県「毎月勤労統計調査」。

8. 個人消費

【現状】<持ち直しの動きがみられる>

○当社調査（11月実施）では、節約意識が高まった人の割合が74.6%となり、25年5月（85.2%）より低下し改善した。

○10月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比+3.1%）、既存店（+1.6%）とも8か月連続の増加。

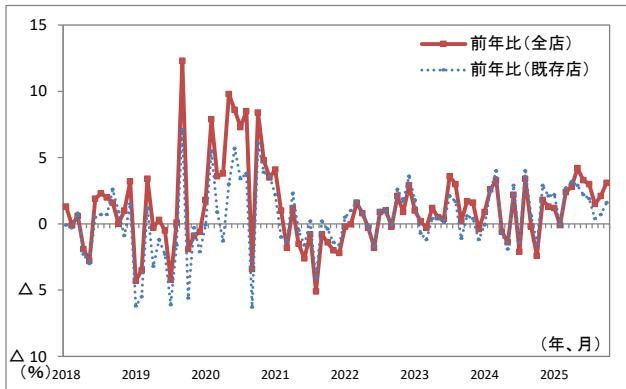
○10月のドラッグストア販売額（+2.7%）は前年比53か月連続の増加、家電大型専門店（+11.3%）は3か月連続の増加となったが、コンビニエンスストア販売額（△0.2%）は8か月ぶりの減少、ホームセンター販売額（△2.5%）は4か月連続の減少となった。

○11月の乗用車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）（△0.6%）は前年比3か月ぶりの減少も微減。普通（△8.6%）は2か月連続の減少、小型（△0.5%）と2か月ぶりの減少となったが、軽（+9.1%）は4か月連続の増加となった。

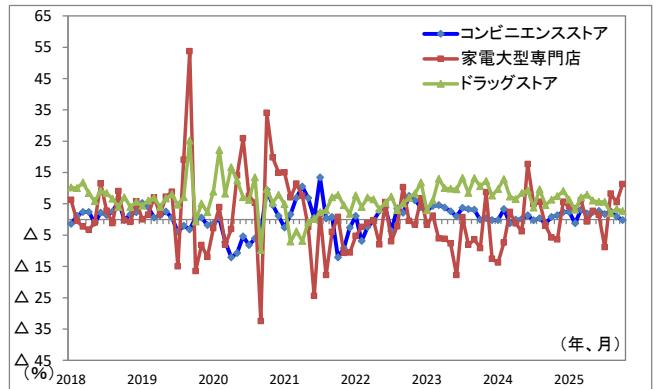
○10月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（+1.5%）は前年比2か月連続の増加。

○11月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、津市）は、前年比+2.6%の上昇となった。

■百貨店・スーパー販売額（前年比）



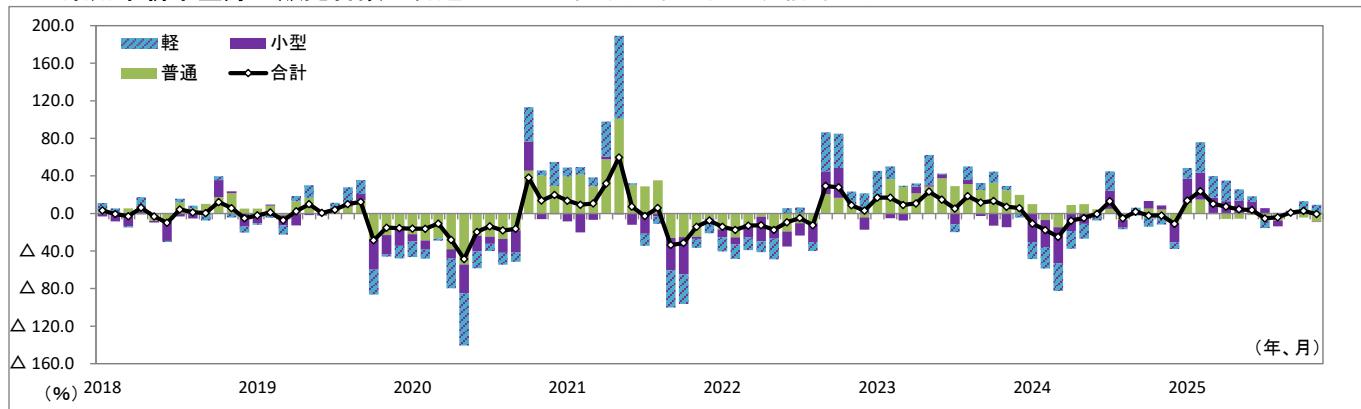
■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動（開店、廃業）があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。

資料：経済産業省「商業動態統計」

■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）

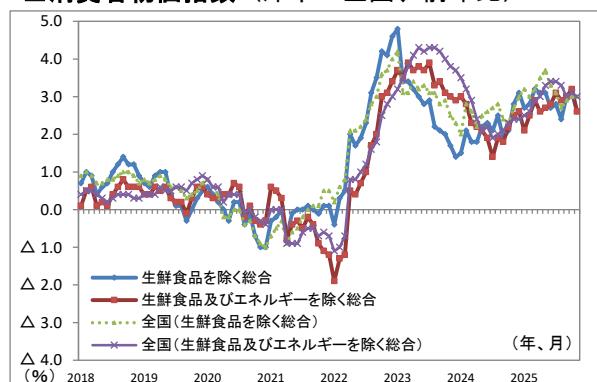


資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国、前年比）

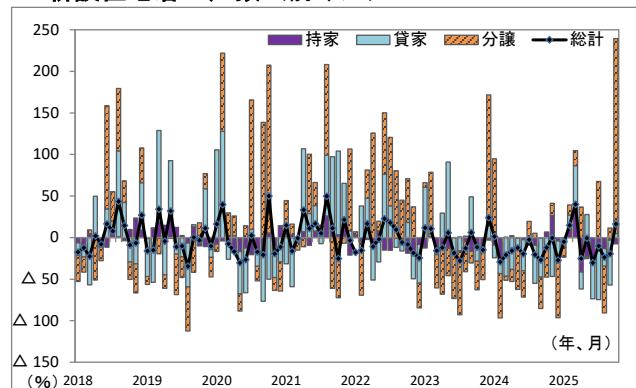


9. 住宅投資

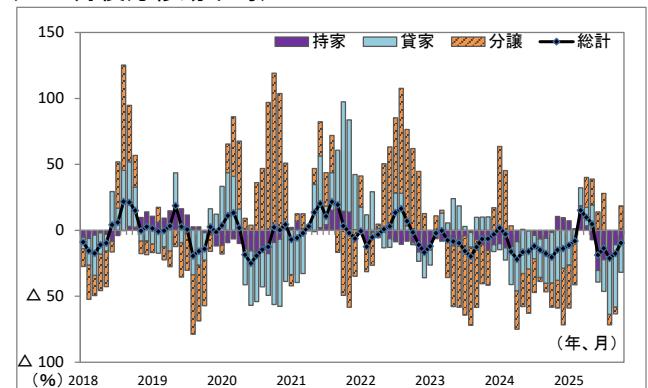
【現状】<弱含んでいる>

○10月の新設住宅着工戸数は、前年比+16.3%で7か月ぶりの増加となった。3か月後方移動平均では△9.5%と5か月連続の減少となった。持家（△7.6%）は7か月連続の減少となったが、貸家（+5.0%）は5か月ぶりの増加、分譲（+234.6%）は2か月連続の増加となった。床面積（+14.2%）では7か月ぶりの増加となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）

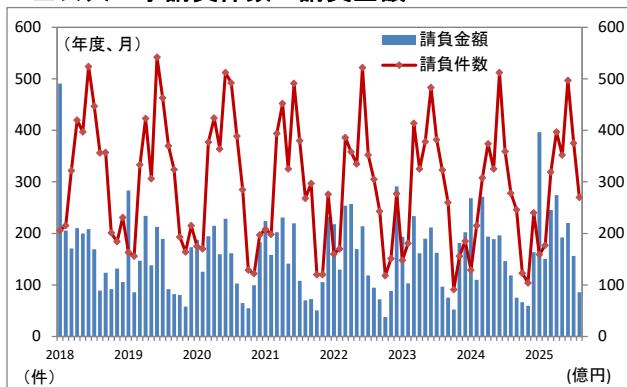


10. 公共投資

【現状】<持ち直しの動きがみられる>

- 11月の公共工事請負件数は前年比△2.9%の減少、請負金額は△27.5%の減少となった。25年4月からの年度累計請負金額では、前年比+15.3%の増加となった。
- 年度累計請負金額について、発注者別にみると、中日本高速道路(株) (△60.7%)、日本郵便(株) (△93.2%)、日本下水道事業団 (△27.1%) などが減少したが、市 (+20.9%)、県県土整備部 (+25.7%)、町 (+44.8%) などは増加した。工事場所別では、鈴鹿市、いなべ市、亀山市などが減少したが、伊勢市、津市、松阪市などは増加した。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額 (年度累計・前年比)



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）

※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他

資料：東日本建設業保証(株)

<トピックス>

- ◆ 当社11月調査（11月中旬～下旬実施）から、県内企業における米国関税による事業への影響の有無をみると、「現時点ですでに、米国関税措置による明らかな悪影響がある」は5.9%となり5月および7月の調査結果（5月5.1%、7月6.5%）とほぼ横ばいだったが、「今後、悪影響を受ける懸念がある」（5月35.2%→7月27.5%→11月13.6%）が大きく低下し、「特段の影響はない」（43.5%→43.6%→63.1%）は上昇しており、先行きに対する不安感は一定薄れつつある。
- ◆ (株)ダイヘン（大阪）は12月16日、大形変圧器の生産能力増強に向け、多気町にある三重事業所内に新工場を建設することを決定したと発表。電力会社の設備更新に加え、再生可能エネルギーの拡大やデータセンター・半導体工場の建設増加に伴い、変電所機器の需要が高まっているため。生産能力を29年度までに2倍に増強する。総投資額は100億円規模。
- ◆ 四日市市は12月20日、近鉄四日市駅東側の中央通りに整備していた円形デッキの供用を開始した。愛称は「よんまるテラス」。中央通り再編事業の一環で、鉄道駅とバスターミナルを結び安全で円滑な移動環境の創出等を図るほか、待ち合わせ場所としての機能も持つ。駅直結の直線デッキは26年夏頃供用予定。国土交通省のバスターミナル整備事業「バスタ四日市」も平行して進行。
- ◆ 三重県は12月20日、県が管理している森林の二酸化炭素吸収量をJ-クレジットとしてカーボン・オフセット等に取り組む事業者等に販売する「美し国みえ森林J-クレジット」の入札販売を実施すると発表。販売を予定するのは名張市内の森林が吸収する899トン分。収益は県行造林における森林整備の促進に活用する。入札期間は25年12月22日から26年2月13日。

三重県主要経済指標

	景気動向指数C I (先行) (2020年=100)		景気動向指数C I (一致) (2020年=100)		業況判断BSI (年度半期)		景況判断BSI (年度四半期)	鉱工業生産指数 (2020年=100)		鉱工業在庫指数 (2020年=100)	
					製造業	非製造業		*1 *2	前月比	*1 *2	前月比
	前月差		前月差								
2022年	—	—	—	—				105.5	0.8	92.6	5.3
2023年	—	—	—	—				100.3	△ 4.9	93.9	1.4
2024年	—	—	—	—				100.5	0.2	85.6	△ 8.8
24年 2月	r	110.5	△ 3.4	112.3	△ 3.4	6.6	5.8	8.0	△ 7.2	89.6	△ 9.7
3月		110.6	0.1	112.7	0.4					89.5	△ 0.1
4月		113.2	2.6	117.0	4.3					101.5	13.4
5月	r	115.7	2.5	119.8	2.8				△ 4.9	116.7	15.0
6月		114.3	△ 1.4	r 116.1	△ 3.7	△ 4.6	△ 13.6	3.9		98.1	△ 15.9
7月		116.1	1.8	117.8	1.7					105.4	7.4
8月		113.4	△ 2.7	116.8	△ 1.0					103.3	△ 2.0
9月		112.5	△ 0.9	115.2	△ 1.6					103.1	△ 0.2
10月		114.5	2.0	r 117.3	2.1					105.3	2.1
11月		112.6	△ 1.9	r 113.2	△ 4.1					97.3	△ 7.6
12月		114.5	1.9	r 114.5	1.3	△ 5.9	△ 16.1	3.1		100.6	3.4
25年 1月		116.1	1.6	r 115.5	1.0					98.2	△ 2.4
2月		114.8	△ 1.3	r 117.4	1.9				△ 6.0	98.9	0.7
3月	r	116.3	1.5	r 118.5	1.1					100.6	1.7
4月		112.0	△ 4.3	r 119.4	0.9					101.3	0.7
5月		117.0	5.0	r 121.3	1.9				△ 7.8	117.3	15.8
6月	r	113.1	△ 3.9	r 119.2	△ 2.1	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7		103.3	△ 11.9
7月	r	116.4	3.3	r 120.6	1.4					99.7	△ 3.5
8月	r	115.3	△ 1.1	r 117.4	△ 3.2					97.1	△ 2.6
9月	r	117.2	1.9	r 123.7	6.3					109.6	12.9
10月	—	—	—	—						110.8	1.1
11月	—	—	—	—				0.8		89.1	△ 6.7

資料出所: 三重県政策企画部統計課、株式会社百五総合研究所、津財務事務所、三重県政策企画部統計課

	輸出 (億円)		輸入 (億円)		貨物車販売				非居住用建築物 着工床面積		企業倒産 *4	
					普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)				件数 (件)	負債額 (百万円)
	*3	前年比	*3	前年比	(台)	前年比	(台)	前年比	(m ²)	前年比		
2022年	11,034	21.3	26,489	65.0	5,222	△ 3.4	9,111	13.0	786,825	0.5	65	13,716
2023年	11,246	1.9	24,470	△ 7.6	5,207	△ 0.3	8,650	△ 5.1	553,076	△ 29.7	130	12,435
2024年	11,481	2.1	25,202	3.0	4,451	△ 14.5	7,332	△ 15.2	573,926	3.8	135	19,309
24年 2月	932	27.1	2,004	△ 4.8	272	△ 40.1	427	△ 46.3	19,562	△ 66.4	12	873
3月	947	13.6	2,019	△ 11.1	412	△ 26.2	605	△ 32.2	88,449	122.5	11	1,251
4月	1,063	37.0	2,320	14.6	305	△ 5.3	566	△ 24.8	22,946	△ 63.3	10	4,416
5月	931	17.0	2,161	32.4	326	△ 5.8	535	△ 8.1	58,849	3.3	12	3,592
6月	944	△ 0.4	2,001	16.0	420	△ 9.9	687	23.3	29,853	△ 49.5	9	444
7月	936	△ 0.2	2,183	31.1	498	26.4	630	13.9	63,846	40.0	12	1,389
8月	905	△ 5.8	2,297	18.5	395	△ 7.9	614	△ 4.7	59,064	156.3	18	2,024
9月	887	△ 15.6	2,045	2.9	432	△ 24.1	748	△ 4.0	60,903	55.1	8	951
10月	1,029	△ 19.1	1,945	△ 7.6	387	△ 12.2	796	5.4	40,800	△ 5.7	11	1,170
11月	958	△ 8.1	1,853	△ 22.2	315	△ 29.7	686	△ 13.9	79,862	130.8	10	1,304
12月	1,070	△ 3.5	2,398	△ 2.2	352	△ 18.7	506	△ 35.8	14,117	△ 63.0	15	1,503
25年 1月	833	△ 5.3	2,182	10.5	298	△ 11.6	527	△ 0.9	46,562	30.5	11	535
2月	917	△ 1.6	2,129	6.2	394	44.9	591	38.4	21,364	9.2	11	8,158
3月	945	△ 0.3	1,930	△ 4.4	517	25.5	629	4.0	25,041	△ 71.7	11	284
4月	949	△ 10.6	2,156	△ 7.1	298	△ 2.3	591	4.4	99,344	332.9	7	384
5月	766	△ 17.7	1,362	36.9	318	△ 2.5	545	1.9	57,246	△ 2.7	3	186
6月	994	5.3	1,411	29.5	376	△ 10.5	659	△ 4.1	71,727	140.3	9	440
7月	1,015	8.4	1,431	△ 34.5	414	△ 16.9	752	19.4	32,281	△ 49.4	24	2,673
8月	734	△ 18.8	1,668	27.4	369	△ 6.6	502	△ 18.2	38,718	△ 34.4	7	1,988
9月	945	6.5	r 1,870	△ 8.6	448	3.7	716	△ 4.3	234,255	284.6	12	491
10月	1,038	0.8	1,930	△ 0.8	399	3.1	786	△ 1.3	25,590	△ 37.3	8	506
11月	p 957	△ 0.2	p 1,920	3.6	473	50.2	614	△ 10.5	—	—	8	700

資料出所: 四日市税關支署(四日市港)、津港の合計、三重県自動車販売協会、三重県税自動車協会、国土交通省、株式会社百五総合研究所

	常用雇用指数 *5		有効				新規求人倍率		名目賃金指数 *5		
			調査産業計		製造業		求人倍率	求人	求職者数	(現金給与総額)	
	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比	(台)	前年比	*1*2 (倍)	*6 (人)	前年比	(2020年=100)	前年比 *11
2022年	100.4	△ 0.1	98.0	1.1	1.39	34,157	13.2	24,514	△ 2.5	2.30	101.2 △ 0.7
2023年	102.9	2.6	98.6	0.5	1.31	32,153	△ 5.9	24,563	0.2	2.08	101.8 0.6
2024年	104.7	1.7	98.0	△ 0.6	1.17	29,560	△ 8.1	25,167	2.5	1.94	106.4 3.1
24年 2月	104.0	2.6	97.0	△ 1.4	1.23	32,069	△ 8.2	24,181	2.5	1.88	87.5 0.6
3月	103.7	2.5	96.8	△ 1.6	1.22	31,549	△ 9.3	25,072	0.3	1.98	89.3 △ 1.3
4月	104.7	1.7	98.3	△ 1.4	1.20	30,121	△ 7.2	26,833	3.8	2.07	88.7 0.0
5月	104.7	1.6	98.1	△ 0.8	1.19	29,170	△ 6.7	27,207	3.7	1.90	89.9 3.3
6月	104.9	1.7	97.9	△ 0.8	1.16	28,462	△ 9.0	26,675	2.4	1.91	154.1 7.5
7月	105.4	1.6	98.8	△ 0.2	1.16	28,612	△ 7.6	25,821	3.2	2.03	126.5 3.7
8月	105.0	1.5	98.6	0.2	1.16	28,287	△ 7.9	24,991	0.9	2.01	89.7 2.0
9月	104.5	0.7	98.4	△ 0.2	1.14	28,452	△ 8.7	25,089	1.6	1.80	88.4 2.3
10月	104.8	1.1	98.7	0.5	1.15	29,272	△ 7.9	25,475	2.6	2.04	89.7 1.4
11月	105.1	1.5	98.7	0.4	1.13	28,948	△ 8.7	24,534	2.5	1.80	95.4 2.1
12月	105.1	1.1	97.4	△ 0.2	1.13	28,378	△ 8.2	23,070	1.8	1.89	190.6 8.2
25年 1月	104.8	0.7	96.5	△ 0.4	1.14	29,204	△ 7.0	23,373	1.4	2.13	88.2 1.6
2月	104.8	0.8	97.0	0.0	1.17	30,604	△ 4.6	24,243	0.3	2.01	89.8 2.6
3月	104.4	0.7	97.0	0.2	1.19	30,613	△ 3.0	25,055	△ 0.1	1.99	94.8 6.2
4月	104.8	0.1	97.5	△ 0.8	1.17	29,121	△ 3.3	26,498	△ 1.2	2.14	89.3 0.7
5月	104.4	△ 0.3	97.0	△ 1.1	1.16	28,369	△ 2.7	26,884	△ 1.2	1.97	91.3 1.6
6月	104.4	△ 0.5	97.5	△ 0.4	1.13	27,739	△ 2.5	26,658	△ 0.1	1.80	155.4 0.8
7月	105.4	0.0	97.1	△ 1.7	1.16	28,392	△ 0.8	25,756	△ 0.3	2.12	133.9 5.8
8月	105.4	0.4	97.0	△ 1.6	1.14	27,987	△ 1.1	25,092	0.4	2.03	91.9 2.5
9月	105.2	0.7	97.2	△ 1.2	1.18	29,156	2.5	25,000	△ 0.4	1.94	91.4 3.4
1											

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8 (百万円)	前年比 (既存店)	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(円)	前年比
	(2020年=100)	前年比 *11	(2020年=100)	前年比 *11			(台)	前年比	(台)	前年比		
2022年	109.1	0.5	124.9	4.2	308,628	1.0	42,059	△ 7.6	28,780	0.2	308,219	△ 4.5
2023年	96.3	△ 11.8	111.8	△ 10.5	311,883	0.3	48,492	15.3	31,028	7.8	372,845	21.0
2024年	98.4	0.3	108.9	△ 3.7	314,184	1.1	46,394	△ 4.3	27,595	△ 11.1	303,304	△ 18.7
24年2月	93.3	△ 5.8	106.1	△ 10.8	24,472	2.5	3,807	△ 14.2	2,325	△ 23.0	327,768	18.6
3月	99.0	△ 5.5	110.6	△ 1.3	25,629	4.0	4,851	△ 22.3	2,472	△ 29.6	383,931	△ 37.6
4月	100.0	△ 1.0	113.6	2.0	24,722	△ 0.7	3,398	△ 0.4	1,824	△ 18.8	266,437	△ 37.6
5月	89.4	△ 3.1	100.8	△ 2.1	25,292	△ 1.9	3,224	2.8	1,826	△ 15.8	290,563	12.9
6月	98.1	3.0	106.8	△ 4.1	25,599	2.9	3,954	2.4	2,202	△ 5.1	264,947	△ 29.2
7月	102.9	6.0	110.6	△ 4.6	26,204	△ 1.4	4,259	9.0	2,619	20.5	309,537	6.4
8月	91.3	0.0	102.3	△ 6.8	27,935	4.0	3,221	△ 7.3	2,062	△ 1.7	326,660	△ 4.8
9月	101.0	5.0	109.1	△ 6.5	24,727	0.6	4,310	△ 0.7	2,967	6.0	254,631	△ 19.4
10月	107.7	10.9	114.4	△ 0.7	25,350	△ 1.5	4,233	6.1	2,341	△ 14.2	319,472	△ 25.7
11月	104.8	6.8	116.7	△ 3.2	26,301	2.9	4,210	4.2	2,355	△ 11.9	311,963	△ 12.8
12月	101.0	6.1	111.4	△ 1.3	30,950	2.1	3,312	△ 13.5	2,223	△ 7.0	304,039	△ 16.7
25年1月	95.2	3.1	103.8	△ 0.7	27,313	2.2	4,167	15.3	2,650	11.4	325,085	16.2
2月	101.0	8.3	119.7	12.8	24,445	△ 0.1	4,514	18.6	3,082	32.6	345,750	5.5
3月	104.8	5.9	123.5	11.7	26,250	2.7	5,032	3.7	3,038	22.9	447,614	16.6
4月	104.8	4.8	117.4	3.3	25,423	3.2	3,379	△ 0.6	2,224	21.9	336,746	26.4
5月	96.2	7.6	103.8	3.0	26,345	2.9	3,227	0.1	2,048	12.2	322,745	11.1
6月	103.8	5.8	116.7	9.3	26,437	2.2	4,049	2.4	2,333	5.9	357,241	34.8
7月	104.8	1.8	125.0	13.0	26,996	1.9	4,101	△ 3.7	2,413	△ 7.9	296,490	△ 4.2
8月	95.2	4.3	113.6	11.0	28,356	0.4	2,992	△ 7.1	2,076	0.7	303,154	△ 7.2
9月	102.9	1.9	125.8	15.3	25,241	0.7	4,328	0.4	3,017	1.7	306,824	20.5
10月	—	—	—	—	26,124	1.6	4,109	△ 2.9	2,641	12.8	324,166	1.5
11月	—	—	—	—	—	—	3,953	△ 6.1	2,570	9.1	—	—

資料出所 三重県政策企画部統計課 経済産業省 三重県自動車販売協会 三重県自動車協会 総務省統計局

	新設住宅着工戸数 (戸)	公共工事請負金額 (億円)	消費者物価指数			
			(津市・生鮮食品及び エネルギーを除く総合)		(津市・生鮮食品及び エネルギーを除く総合)	
			(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比
2022年	9,912	△ 2.9	1,945	7.1	102.2	2.3
2023年	9,224	△ 6.9	1,862	△ 4.2	105.0	2.7
2024年	7,751	△ 16.0	1,858	△ 0.2	107.4	2.2
24年2月	501	△ 29.2	181	105.0	106.1	2.1
3月	635	△ 20.9	202	△ 30.6	106.2	1.8
4月	610	△ 15.9	268	38.8	106.8	1.8
5月	674	△ 12.2	110	6.5	107.0	2.2
6月	675	△ 19.5	271	15.9	107.2	2.3
7月	732	△ 2.7	194	20.1	107.6	2.1
8月	701	△ 20.6	189	△ 0.4	108.0	2.5
9月	663	△ 27.0	196	△ 7.2	107.4	1.9
10月	645	△ 12.0	146	△ 9.9	108.1	2.1
11月	634	△ 0.6	118	22.6	108.6	2.8
12月	524	△ 27.2	75	0.0	109.1	3.1
25年1月	718	△ 5.2	67	27.3	109.0	2.7
2月	575	14.8	60	△ 67.0	109.1	2.8
3月	889	40.0	163	△ 19.1	109.6	3.2
4月	455	△ 25.4	397	47.7	110.1	3.1
5月	669	△ 0.7	151	37.0	110.3	3.1
6月	470	△ 30.4	245	△ 9.5	110.1	2.7
7月	659	△ 10.0	274	41.5	110.6	2.8
8月	534	△ 23.8	192	1.7	110.6	2.4
9月	534	△ 19.5	220	12.3	110.6	3.0
10月	750	16.3	156	7.1	111.4	3.1
11月	—	—	86	△ 27.5	111.4	2.6

資料出所 国土交通省 東日本建設業保証㈱ 総務省統計局